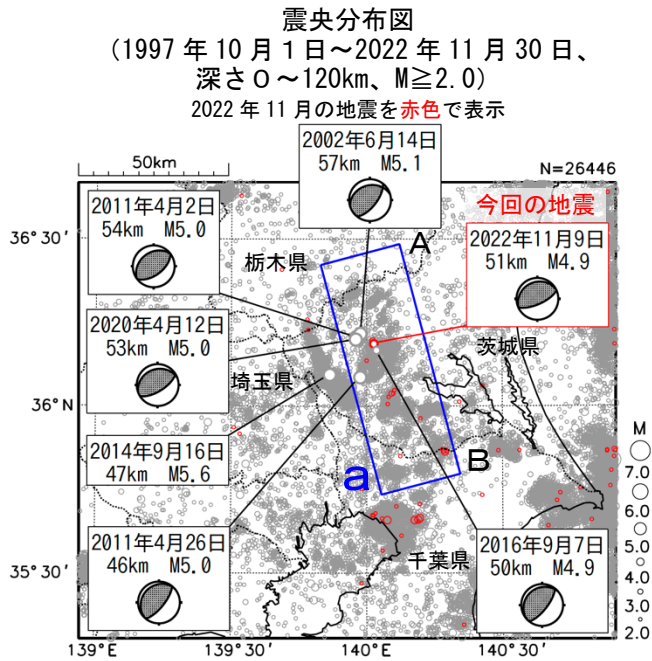


11月9日 茨城県南部の地震

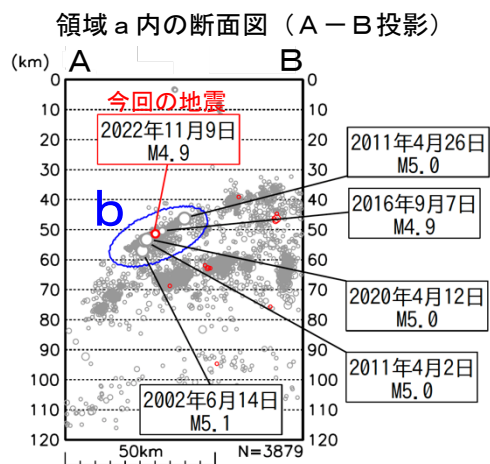


2022年11月9日17時40分に茨城県南部の深さ51kmでM4.9の地震（最大震度5強）が発生した。この地震は、発震機構が北北西-南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。また、この地震の震源付近では、11月11日にもM3.7の地震（最大震度3）が発生した。

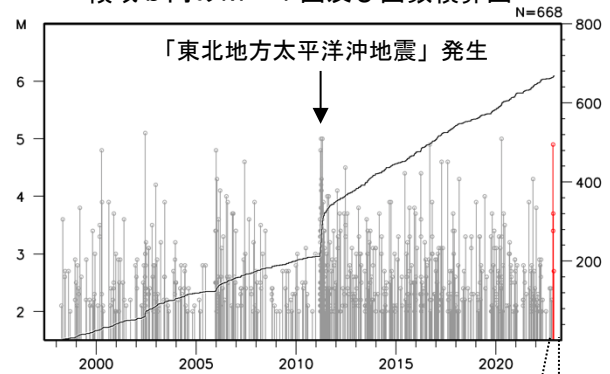
今回の地震により、軽傷1人の被害が生じた（11月16日17時00分現在、総務省消防庁による）。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）は、地震活動が活発な領域であり、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、「東北地方太平洋沖地震」）の発生以降、地震活動がより活発になっている。この領域では、M5.0程度の地震が時々発生しており、最近では2020年4月12日にM5.0の地震（最大震度4）が発生している。

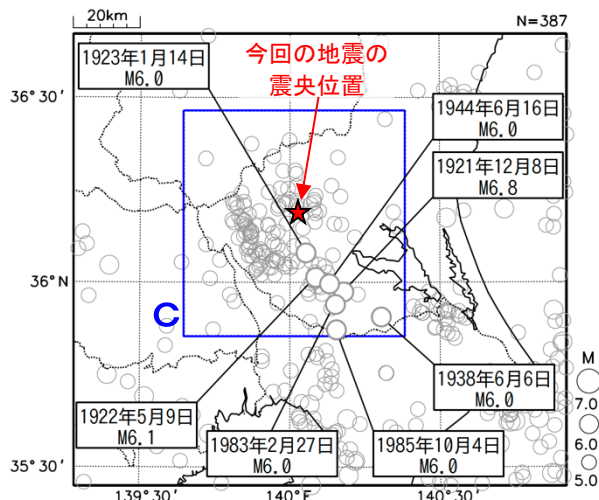
1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M6.0以上の地震が時々発生している。1923年1月14日に発生したM6.0の地震では、負傷者1人などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。



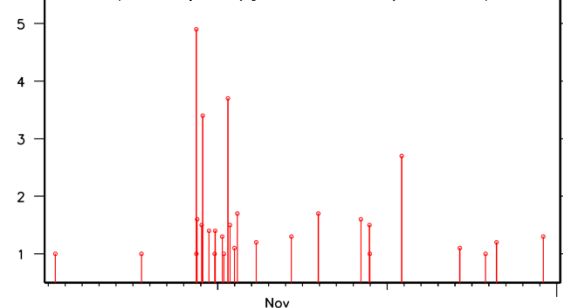
領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
(1919年1月1日～2022年11月30日、深さ0～120km、 $M \geq 5.0$)
2022年11月の地震を赤色で表示



(2022年11月1日～30日、 $M \geq 1.0$)



領域c内のM-T図

